

令和6年8月27日

新潟市水道事業管理者  
水道局長 長井 亮一 様

新潟市水道事業経営審議会  
会 長 佐伯 竜彦

新・新潟市水道事業中長期経営計画（新・マスタープラン）の  
事業・取り組みに関する2次評価について（報告）

令和6年8月27日に開催した、令和6年度第1回新潟市水道事業経営審議会において、  
新・新潟市水道事業中長期経営計画（新・マスタープラン）の令和5年度の事業・取り組み  
に関する2次評価について審議した結果、下記のとおり決定しましたので報告します。

#### 記

1. 令和5年度事業・取り組みに関する2次評価の結果・・・別紙のとおり

# 令和5年度新・マスタープラン2次評価

施策	事業・取り組み	水道局1次評価		方向性	経営審議会評価
		効率性	有効性		
I 水質管理の充実・強化	I-1 水源水質の監視	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	I-2 水安全計画の充実・適切な運用	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	I-3 水質管理体制の強化	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	I-4 新潟市独自の管理目標による水質管理	B	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	I-5 分かりやすい水質情報の提供	C	E	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。なお、体験型広報活動については、コロナ禍以前の水準への回復を図ること。
II 給水装置における水質保持	II-1 学校施設の水飲み水栓の直結給水化	B	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	II-2 貯水槽清掃率向上に向けた新たな啓発活動の検討・実施	C	B	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	II-3 指定給水装置工事事業者の技術力向上	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
III 水道施設の計画的更新	III-1 浄水施設の計画的更新	C	B	維持	予算規模が大きく、浄水施設は水道システムの根幹をなすものであることから、引き続き計画的な更新投資とその進捗管理を実施し、計画に沿った事業推進に努めること。
	III-2 管路施設の計画的更新	B	A	維持	予算規模が大きく、管路施設は水道システムの根幹をなすものであることから、引き続き計画的な更新投資とその進捗管理を実施し、計画に沿った事業推進に努めること。
	III-3 鉛給水管の計画的更新	C	D	維持	効率性の観点だけでなく、健康面への影響を考慮し、事業の加速化が望ましい。
IV 震災対策・体制の強化	IV-1 浄水施設の計画的耐震化	B	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	IV-2 管路施設の計画的耐震化	B	B	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	IV-3 重要施設向け配水管の耐震化	B	A	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	IV-4 配水管網のブロック化の推進	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	IV-5 大ブロック間の相互連絡管の整備	A	B	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	IV-6 事故・災害時における復旧体制の強化	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。なお、各種災害時の対応や復旧体制については、マニュアル類の継続的な点検・改善や訓練の定期実施等を通して、発生時に有効に機能するよう努めること。

施策	事業・取り組み	水道局1次評価		方向性	経営審議会評価
		効率性	有効性		
V経営基盤の強化	V-1 アセットマネジメントによる適正な資産管理	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	V-2 定員・給与の適正化	C	B	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	V-3-① 業務効率化に向けた民間委託の検討・実施 (DB(デザインビルド)方式の導入)	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	V-3-② 業務効率化に向けた民間委託の検討・実施 (給水装置工事検査業務の委託に係る調査・検討)	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	V-3-③ 業務効率化に向けた民間委託の検討・実施 (料金関連業務の委託に係る調査・検討)	R4年度終了		完了	
	V-4 遊休資産の有効活用	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	V-5 時代に即した料金制度等の検討・実施	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	V-6 水道事業経営審議会の効果的運用	C	B	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	V-7 機能的・効率的な組織体制の構築	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	V-8-① ICTを活用した業務効率化 (RPA(RoboticProcessAutomation)の導入)	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	V-8-② ICTを活用した業務効率化 (スマートメーターの導入検討)	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	V-8-③ ICTを活用した業務効率化 (ICTを活用した給水装置審査業務の集約に係る調査・検討)	B	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	VI積極的な情報提供とお客さまニーズの把握	VI-1 戦略的な広報の実施	C	B	維持
VI-2 お客さまの意見・要望の把握		B	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
VI-3 分かりやすい経営情報の開示		C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
VI-4 放射性物質を含む浄水汚泥の適切な管理と情報提供		C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
VII技術・知識を有する人材の確保と育成	VII-1 人材育成と専門性の強化	B	E	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。なお、より効果的な人材育成方法・システムを検討することが望ましい。
	VII-2 諸外国との水道技術研究交流	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
VIII環境に配慮した事業運営	VIII-1 建設副産物の再利用促進	B	A	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。
	VIII-2 水道局環境計画の策定と推進	C	C	維持	引き続き、計画に沿って事業を推進すること。